

第1日◆個人発表 午前10時

【第一部会】桜の間

- ①在日華人の信仰状況 — 東京佛光山寺の事例から
センター研究生 安田峰俊
- ②寺院に学ぶコミュニティデザインとしてのZEN
— 「海外寺院ガイドブック」フィールドワーク編
SOTO禅インターナショナル事務局 内山温子
- ③ダライラマの普遍的責任と平和 — エスノセントリズムやナショナリズムをこえる試み
東洋大学東洋学研究所客員研究員 田崎國彦

【第二部会】菊の間

- ①『宗鏡録』における雑密經典の受容 — 中世日本
仏教における禅密双修思想の一考察
駒澤大学仏教経済研究所研究員 千葉 正
- ②覚阿と宋代禅宗 — 禅宗初伝者の栄光と挫折
駒澤大学教授 佐藤秀孝
- ③『宝鏡三昧』の諸本と系統
センター客員研究員 椎名宏雄

【第三部会】蘭の間

- ①仏教的グリーンワークの意義 — スピリチュアルな死生観の提示
センター研究生 伊藤道仁
- ②道元禅師の「生死観」について — 現代教化への展開と関連して
センター研究生 眞如晃人
- ③ヨーガ哲学と禅思想に関する参究(3) — 『普勸坐禅儀』と『坐禅用心記』との対比を中心として(2)
愛知学院大学非常勤講師 加藤龍興

第1日◆パネル発表 午前11時 桜の間

- ①「こころの問題研究プロジェクト」中間報告 午前11時
発表(1)「成果刊行冊子『こころに向き合う宗侶養成テキスト』(仮題)企画立案の趣旨」
センター客員研究員 金子宗元
- 発表(2)「成果刊行冊子【学科編】【資料編】の概要について」
センター委託研究員 館盛寛行
- 発表(3)「成果刊行冊子【実践編】の概要と模擬体験・ロールプレイに基づく研修方法について」
センター委託研究員 前田宥全
- ②布教モデル研究報告「祈りの集い — 自死者供養の会 —」について 午後2時
発表者 センター教化研修部門研究生
- ③『「宗勢総合調査」からみえてくるもの』 午後2時30分
司会 センター専任研究員 平子泰弘
コメンテーター センター客員研究員 佐々木宏幹
- 発表①「超高齢少子社会のなかの寺院 — 寺院を「ささえる」人びとの変動を中心に —」
鈴鹿短期大学教授 川又俊則
- 発表②「住職の意識から見えてくるもの」
東京大学大学院助教 松島公望
- 発表③「寺院と檀信徒のつながり — 現状と今後 —」
センター専任研究員 平子泰弘
- 発表④「曹洞宗寺院における法事の実施状況とその変化」
駒澤大学大学院 徳野崇行
- 発表⑤「過疎地域における曹洞宗寺院 — 他宗派との比較から —」
センター研究員 相澤秀生

総括

センター客員研究員 佐々木宏幹

第2日◆個人発表 午前9時40分

【第一部会】桜の間

- ①仏教の教説における公益性
センター研究生 久保田永俊
- ②公益法人見直しをめぐる課題 — 特に寺院活動への影響
センター講師 井上正憲
- ③現代宗教における「消費」から「信仰」への動機づけに関する
— 考察 — 消費社会における布教教化の可能性について
センター研究生 関水博道
- ④「本尊唱名」についての考察 — 宗門教化の変遷における「本尊唱名」Ⅲ
センター副主任研究員 小杉瑞穂
- ⑤現代社会のニーズに応える寺院を目指して — 体験型「寺キャンプ」モデルの提案
センター専任研究員 宇野全智
- ⑥曹洞宗宗門の禁煙化を願う — 東京巢鴨・とげぬき地蔵尊高岩寺における禁煙の実践
東京都高岩寺住職 来馬明規
- ⑦曹洞宗国際伝道史の再構築
長野県廣澤寺住職 小笠原隆元
— 休憩 —
- ⑧ネパール共和国の仏教事情 — ブッダ・ブミ・仏教センターの活動を通して
長野県桃源院住職 山本健善
- ⑨仏教シオニズムと仏教原理主義 — 語られない視点
世界仏教徒センター 中村行明
- ⑩価値多元化社会における寺院仏教弱体化と道元禅再興の可能性 — ムラ共同体解体と自己決定主義との間に禅の「共属型」思考を
センター講師 中野東禅
- ⑪坐法の身体観
駒澤大学大学院 渡邊幸江
- ⑫坐禅と下肢柔軟性の検討 — 生活習慣に着目して
福島県新昌寺徒弟 高崎宗倫
- ⑬仏教と医学 — 仏教教育における医学医療知識習得の必要を荒木正胤老師の研究と実践にミル
特定非営利活動法人総合医療医学科学術機関 KSD 水野榕己
- ⑭「いのち共育」における傾聴
財団法人東方研究会研究員 西岡秀爾
- ⑮青少年に対する教化の理論 — 幼児に対するアプローチを中心に
センター研究生 鈴木健心
- ⑯幼児期からの仏教(禅)を基盤とした環境教育を求めて — 蒲原梅花幼稚園の実践より
蒲原梅花幼稚園園長 鏡島眞理子
- ⑰仏教保育実践の意義と課題 — 保育科学生の意識を中心にして
育英短期大学教授 佐藤達全
- ⑱日本仏教における鳳凰の受容について
東京都長泉寺副住職 小川洋一
- ⑲仏教的エコ・グリーンツーリズムの実践
センター研究生 藤田雄峰
- ⑳紙を利用した環境とつながりの理解 — 寺院で行う環境教育のモデルとして
千葉科学大学准教授 安藤生大

【第二部会】 菊の間

- ①「湘南」考 — その禅語由来について
駒澤大学大学院 小栗隆博
- ②了然尼考 — 「了然道者法語」について
センター研究員 丸山劫外
- ③「恁麼」の哲学へ向けて— ブーバーの『我—汝』の
読解を通して「是什恁麼仏恁麼来」への探索
駒澤大学非常勤講師 アントニー・ブラック
- ④道元禅師における叢林の規範と行仏について
センター主任研究員 粟谷良道
- ⑤道元禅師とマイスター・エックハルト（その四）
元国際布教師 五十嵐良探
- ⑥『赴粥飯法』における「法是食・食是法」再考
— その独自性とは
センター専任研究員 古山健一
- ⑦『正法眼蔵』に観る菩提心の一考察（七）
— 「観心無常」について
センター研究員 河村康仁
— 休憩 —
- ⑧『辨道話』と『法華経』
駒澤大学大学院 清野宏道
- ⑨「以鳥為命あり、以魚為命あり」とは何か
— 現成公案の意味について
東北女子大学教授 佐々木隆
- ⑩道元禅師のさとの出発点と「現成公案」での展開
愛知淑徳大学非常勤講師 ミハイロワ・スベタラーナ
- ⑪『正法眼蔵—摩訶般若波羅蜜—』の解釈
中世文学会 神谷 隆
- ⑫道元禅師の言語観 — 特に般若波羅蜜と空華の両巻
に参照して
北米禅仏教学研究会 市村承秉
- ⑬『正法眼蔵』「坐禅箴」巻の考察（4）
センター研究員 清藤久嗣
- ⑭『正法眼蔵』「嗣書」巻に見る『嗣書』の書式について
センター研究員 菅原研州
- ⑮道元禅師『究極眼蔵』への遠い行程と二十一世紀曹洞
宗学
山口大学名誉教授 杉尾玄有
- ⑯正信論争考（7） — 真宗の輪回論との比較
山口県龍昌寺住職 竹林史博
- ⑰道元禅師と坐禅に関する一考察 — 特に現代の禅者と
高祖をめぐって
埼玉県法泉寺住職 石島尚雄
- ⑱衛藤即応の道元論と京都学派の哲学
日本学術振興会特別研究員 杉本耕一
- ⑲日本近代仏教の流れと衛藤即応著『宗祖としての道元
禅師』
センター主任研究員 竹内弘道

【第三部会】 蘭の間

- ①寺族に対するメンタリティについて — 曹洞宗寺族
問題の現状と課題
女性と仏教・関東ネットワーク 瀬野美佐
- ②能化・所化の世界で — 寺族のお浄土を
滋賀県青岸寺寺族 永島慧子
- ③礼拝と教化 — 祈願・祈祷による礼拝のかたち
センター研究生 松根大地
- ④仏法と世俗法 — 社会規範と人権をめぐって
愛知学院大学准教授 木村文輝
- ⑤第二十四回世界仏教徒会議の諸報道について— な
ぜ読売・中日などは報道しなかったのか
愛知県竜潭寺住職 別府良孝
- ⑥教化の場における民俗 — 墓石の実態調査をふまえて
センター研修生 横山俊顕
- ⑦副葬品の習俗について — 「頭陀袋」の事例を中心に
センター委託研究員 横井教章
— 休憩 —
- ⑧靈魂中有説の周辺
センター客員研究員 佐藤俊晃
- ⑨上杉謙信の「義」の精神大悟の背景— 「義」の精神
発祥の歴史的考察
日本石仏協会理事 石田哲彌
- ⑩『洞上金剛杵』の考察
センター研究員 小早川浩大
- ⑪近世禅宗寺院の施食供養と陰陽師— 三河国八名郡
慈廣寺の事例を中心に
駒澤大学大学院 広瀬良文
- ⑫寂円派の門参史料について
愛知学院大学大学院 伊藤秀真
- ⑬建綱と建擲の関係（その4） — 常在院開基義演和尚
に就いて
岩手県正洞寺住職 熊谷忠興
- ⑭源翁心昭と峨山韶碩 — 源翁関係伝記史料群からの
考察
駒澤大学大学院 上野徳親
- ⑮永興寺とその外護者への一考察（下）
三重県正泉寺東堂 中世古祥道
- ⑯總持寺宝物殿蔵「永平寺住山記」について
センター客員研究員 尾崎正善
- ⑰瑩山禅師の行履にみる菩薩行の実践
センター修了 渡部鋭幸
- ⑱『伝光録』における永嘉玄覺の位置付けについて
— 『維摩経』解釈からの一考察
センター専任研究員 宮地清彦
- ⑲瑩山禅の摩訶迦葉尊者多子塔前付嘱説の意義
センター所長 池田魯参